backlog by nulab

建設業

協力会社との情報共有を経営の強みに



元請・下請・協力会社の情報連携を整える
Backlog活用ガイド

図面の共有がどの会社までか把握できない

建設現場では元請・下請・協力会社が連携して工事を動かすため、
「誰にどこまで共有したか」を一貫して把握するのは容易ではありません。

課題 01

協力会社に どこまで見せるか迷う

工程表や図面の共有範囲が個別に判断され、現場ごとにルールが揺れる。

課題 02

協力会社の 乗り込み・撤収時の 管理が曖昧

協力会社が現場に乗り込み・撤収する際の権限付与やアカウント管理のルールが明確化されていない。

課題 03

監査前に 判断履歴を探し直す

是正判断、図面の共有理由、協力会社への依頼経緯の管理が分散し、監査やトラブル対応時に状況把握できない。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

共有範囲が管理しにくくなる構造が原因

協力会社との情報共有で起きる問題は、
共有先、権限、判断履歴を工事案件ごとにそろえて残す仕組みがないことが主な原因です。

原因 01

共有対象と共有先の管理単位がそろっていない

工程表や図面を送る判断軸が現場ごとに変わり、対象会社・確認者・共有範囲が同じ形式で残りにくい。

原因 02

参加・変更・撤収時の役割と完了条件が決まっていない

乗り込み時の権限付与や撤収時のアカウント棚卸しが後回しになり、誰が確認したかも記録がない。

原因 03

是正判断・共有理由・依頼経緯が分散している

メール、エクセル、口頭連絡、共有フォルダに履歴が分かれ、監査やトラブル時に経緯を再構成する必要がある。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

共有範囲を管理するためにできること

ガバナンス強化策の定着には、禁止事項を増やすだけでは不十分です。
共有内容と判断理由を工事の進行と同じ流れで管理する必要があります。

改善策 01

共有先を工事案件ごとに決める

あらかじめ共有先、確認者、共有範囲を決めておくことで、現場判断のばらつきを抑える。

改善策 02

参加・変更・撤収の確認事項を決める

協力会社の乗り込みと担当変更、撤収時の確認者・期限・完了条件を決め、権限付与やアカウント棚卸しの結果を記録する。

改善策 03

判断理由と完了確認を残す

例外的な共有、再共有、是正完了の判断履歴を残すことで、監査やトラブル対応に備える。

これらを現場の負担なく続けられるかが、統制の定着と形骸化の分かれ目です

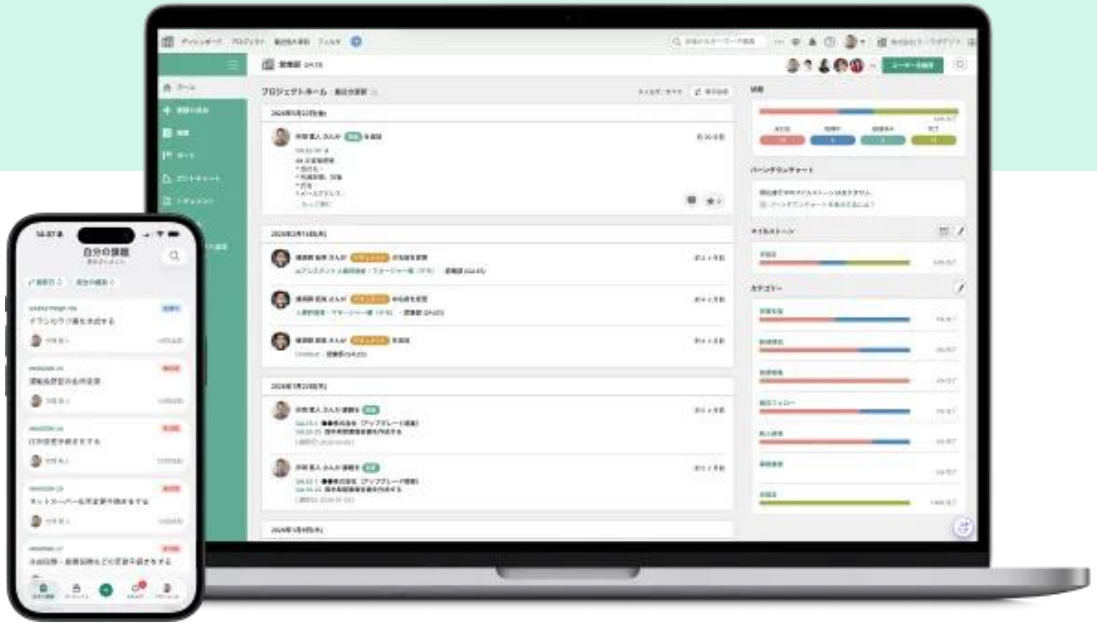
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

チームの情報を1か所に集約するプラットフォーム「Backlog」とは

Backlogは、仕事をタスクとして登録し、担当者、進捗、コメント、関連資料を一元化できる
プロジェクト・タスク管理ツールです。

業務場面

- 進捗確認
- 図面改訂・施工写真の共有
- 是正対応の完了確認
- 協力会社への依頼・確認



backlog by nulab

できること

- 可視化
- データ共有
- アクセス権限の設定
- 監査ログ・SSO *
- 報告整理

* セキュリティオプション「Nulab Pass」のご契約が必要です。

担当者・部門・会社ごとの状況や経緯を同じ場所に残せるため、個別確認に頼らずチーム全体で進捗を把握できる。

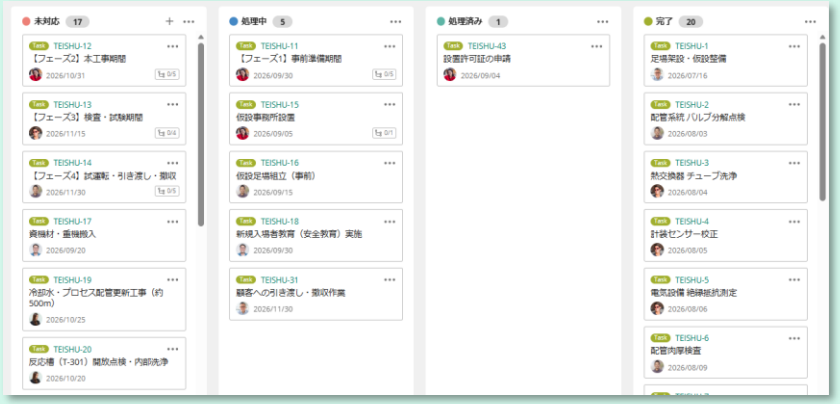
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること１：タスク・ステータス管理

工程ごとの作業や是正対応を「課題」として登録・管理。全員が同じ画面で、
担当者・期限・状態を一覧で確認できる状態にします。







親子課題・孫課題*

タスクの作成・割り当て・追跡を効率化

- 案件を子課題・孫課題に分割して管理
- 親課題で案件全体の進捗をひと目で把握
- 課題ごとに担当者・期限・優先度を設定

*一部プランのみ使用できます。詳細は料金ページをご確認ください。

ガントチャート

プロジェクトのスケジュールを視覚的に管理

- タスクの工程とスケジュールを可視化
- ドラッグ＆ドロップで簡単にスケジュール調整
- マイルストーンの設定と進捗管理

ボード

直感的なタスク管理とワークフロー

- ドラッグ＆ドロップで簡単に状態変更
- 作業の進捗状況をビジュアル化
- ワークフローの効率化と可視化

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること２：コメント・ファイル共有

図面の共有や是正対応の際に発生する議論や判断理由を、課題のコメント欄に直接記録。
やり取りが課題に紐づいて蓄積されるため、メールや口頭連絡の記憶に頼らず、経緯を後からたどれます。



コメント

タスクに紐づけてコメントを残せる

- 経緯や判断理由をやり取りごと残せる
- 関連ファイルの添付も可能



ファイル

プロジェクトごとにファイル格納

- PDF、画像、エクセル／ワードファイル等を格納可能
- 格納場所を一元化することで情報の散在を防止

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlogでできること3：ドキュメント・AIアシスタント

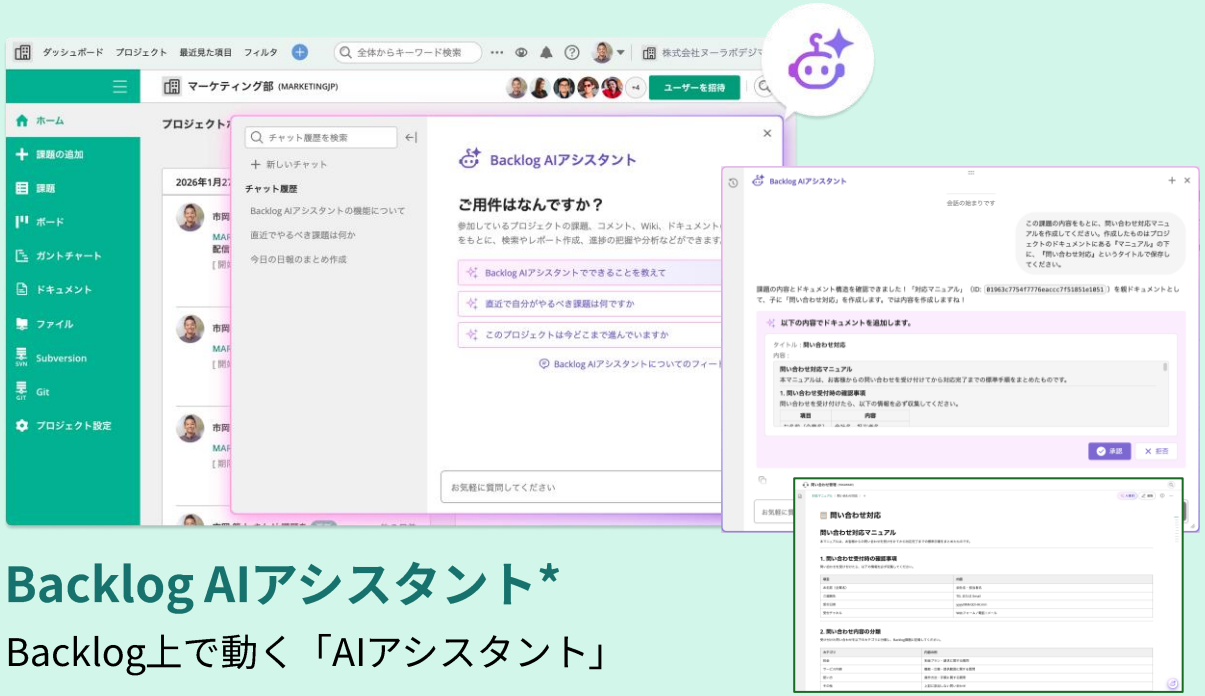
繰り返し聞かれる判断基準や対応マニュアルをドキュメントにストック。
工事の関係者全員が参照可能な「情報資産」に育ちます。



ドキュメント

チーム内での情報共有とナレッジベース構築

- プロジェクト内の知識を一元管理
- マークダウン記法でドキュメント作成
- 複数人での共同編集と履歴管理



Backlog AIアシスタント*

Backlog上で動く「AIアシスタント」

- 自社の業務の背景や文脈を踏まえてAI回答
- 専用のAIを構築せずに使える
- 進捗管理やレポート作成、人事評価などにも役立つ

*一部プランのみ使用できます。詳細は料金ページをご確認ください。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlog活用例 ① 図面改訂・工程変更の共有

「誰に・何を・いつ共有したか」が記録に残る

改訂内容・共有先・確認期限を課題に登録し、共有の判断理由をコメントに残します。

現場ごとに揺れていた共有範囲の判断が同じ型でそろい、どの会社まで見せたかを経営側からも確認できます。



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlog活用例 ② 是正対応・施工写真の完了確認

是正の完了判断が、証拠とセットで残る

指摘内容・担当者・期限・完了確認を1つの課題にまとめ、施工写真も添付します。

監査やトラブル対応の場面で、経緯を探し直すことなく、工事案件単位の記録をそのまま示せます。



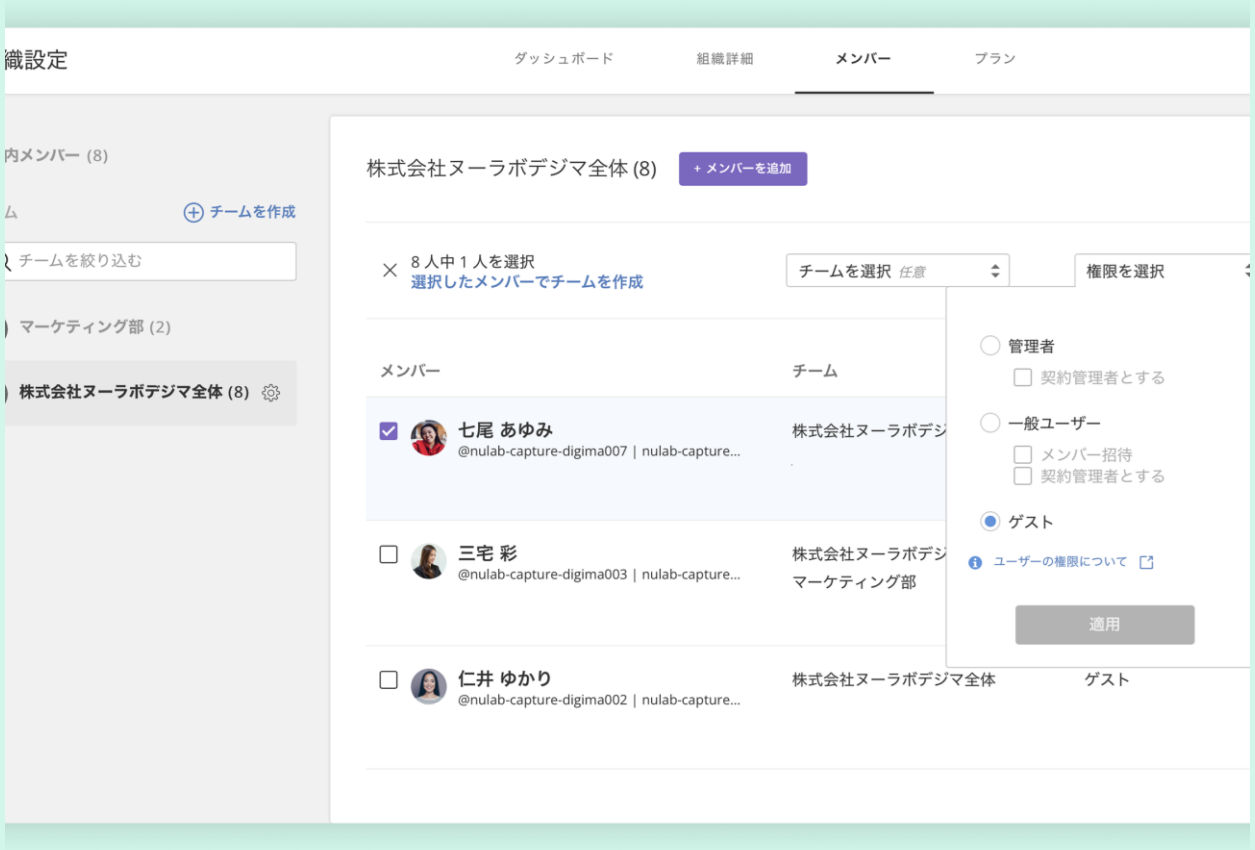
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

Backlog活用例 ③ 協力会社の乗り込み・撤収の管理

協力会社のアカウントを、撤収とともに整理する

工事の区切りごとにゲストアカウントを棚卸しし、不要になった権限を削除します。

退場後もアクセスが残り続けるリスクを防ぎ、誰が情報を見られる状態かを把握・説明できます。



©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

導入事例①

社外パートナーとの共同プロジェクト事例

下請け・孫請け・協力会社が関わる工事では、会社をまたいだ情報共有と確認履歴の管理が重要になります。
建設業でも応用できる、社外パートナー連携の事例を2つ紹介します。

Case 1

都市ガス製造・販売



導入前

- 以前より情報や関係部署が多く、タスクが複雑に絡み合っていた。
- メール、エクセル、電話でのやり取りでは情報が散らかり、社外のプロジェクトメンバーとの資料共有や進捗把握にも負荷があった。

Backlogの使い方

- 社内外の関係者が1つのプロジェクトに集まり、担当者、期限、タスク内容、進捗をBacklog上で共有。
- 課題一覧やプロジェクトホームで、誰が何を持っているかを確認した。

導入後

- 社内外の関係者が進捗やコミュニケーションをオープンに確認できる状態となった。

詳細はこちら

Backlog導入事例はこちらからご覧いただけます

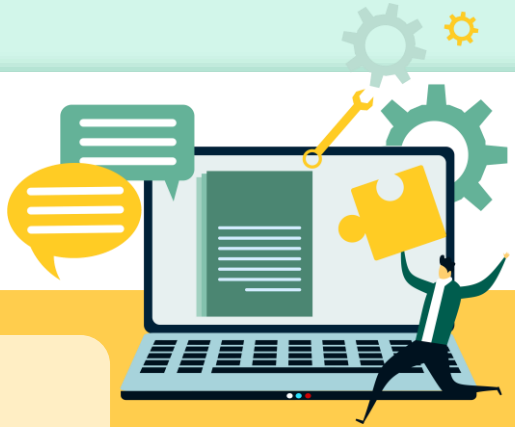
©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

導入事例②

社外パートナーとの共同プロジェクト事例

Case 2

金融・保険／部門横断開発



導入前

- 外部ベンダーとの共同開発を進めるうえで、情報共有のしやすさと、セキュリティ・監査性の両立が課題になっていた。部署ごとのファイル共有も煩雑だった。

Backlogの使い方

- 開発チームのタスク管理、プロジェクト情報の共有、ファイル管理を集約。さらにNulab Passも活用し、監査ログの取得やセキュリティ強化に取り組んだ。

導入後

- 一部の機密情報を除きプロジェクト情報をBacklogに集約することで、部署横断の情報共有負荷を軽減。Nulab Passの導入により、監査性の向上とセキュリティ・ガバナンス強化にもつなげている。

詳細はこちら

Backlog導入事例はこちらからご覧いただけます

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

導入を支える費用設計とセキュリティ体制

全社規模での展開や中長期的な運用を見据え、
投資対効果（ROI）を最大化し、組織のガバナンスを遵守するための導入基盤を提供します。

01

アカウント数に縛られない「定額料金プラン」

ユーザー数に応じた従量課金ではなく、スペース単位の定額制を採用。元請・下請・協力会社など、関係者が増えても追加コストを気にせず運用可能です。

※プランによっては人数制限があります

02

強固なセキュリティ・ガバナンス

ISO 27001 / 27017 / 27018 を取得。インフラには高可用性・高耐久性を誇るAWSを採用し、通信の全面暗号化（TLS）や24時間365日の監視体制で、社外秘の情報を厳重に保護します。

03

基幹システムを補完する「判断の記録」

基幹システムでは残せない「なぜその判断をしたか」「トラブルにどう対処したか」という業務の文脈をBacklogに蓄積。現場の二重入力を防ぎつつ、組織の判断品質を高める基盤となります。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

お気軽にお問い合わせください

無料トライアルで試す
まずは使ってみる



30日間無料で試す

オンラインセミナーで学ぶ
まずは話を聞きたい



オンラインセミナー

個別相談会で相談する
相談しながら決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.